

別紙様式2

基準該当者功労調書

(職名) 元 朝日町教育委員会 教育長 (氏名) 小林 克彦

一、略歴

昭和四十一年三月 南山大学外国語学部イスパニア学科四年制 卒業
昭和四十一年四月一日 エスコラピオス学園 海星高等学校教諭(英語科)
昭和四十三年四月一日 飯南郡飯高町立川俣中学校教諭(英語科)
昭和四十五年四月一日 桑名郡多度町立多度中学校教諭(英語科)
昭和四十八年四月一日 四日市市立水沢中学校教諭(英語科)
昭和五十年四月一日 四日市市立大谷台小学校教諭
昭和五十四年四月一日から昭和五十七年三月三十一日まで
在外教育施設リオ・デ・ジャネイロ日本人学校へ派遣
昭和五十七年四月一日 四日市市立山手中学校教諭(英語科)
昭和五十九年四月一日 四日市市教育委員会事務局学校教育課教職員係長
昭和六十三年四月一日 四日市市教育委員会事務局学校教育課課長補佐
平成三年四月一日 四日市市立常磐小学校教頭
平成五年四月一日 四日市市立保々小学校長
平成七年四月一日 四日市市立山手中学校長
平成九年四月一日 四日市市教育委員会事務局学校教育課長
平成十一年四月一日 三重県教育委員会事務局北勢教育事務所長
平成十三年四月一日 四日市市立中部中学校長
(平成十六年三月三十一日 同 退職)
平成二十年十月一日 朝日町教育委員会教育長に就任
(令和四年三月三十一日 同 退任)

二、功労の内容

(一) 朝日町教育委員会教育長

平成二十年十月一日、朝日町教育委員会教育長に任命され、永きにわたり、教育にあふれんばかりの情熱と豊富な知識を持った同人は、昭和四十三年から平成十六年までの学校現場での経験を存分に生かして、朝日町教育委員会教育長として非常に優れた手腕を発揮し、教育行政に確かな足跡を数多く残している。

(二) 教育環境の整備

教育環境向上のため、朝日小学校校舎及び給食室の改築、あさひ園（幼保一体型施設）の新設、朝日小学校体育館の新設及びプールの改築、小中学校にエアコン設置、中学校バリアフリー化のためのエレベーター等設置を積極的に推進した。いずれの環境整備においても、教育、人権の視点から子どもの学びの場にふさわしい環境となるよう尽力した。

(三) 教科書採択委員

教科書改訂に伴う教科書採択年度では、採択委員として北勢第二地区内（四日市市、菰野町、朝日町、川越町）の公立小中学校において使用する教科用図書採択にかかわり、その責を担った。

(四) 朝日町奨学生選考委員

朝日町在住者で高等学校及び大学に経済的事由により就学困難なものに対する奨学金の貸与について、選考委員として選考に携わり、学業、人物が優秀な学生が経済的事由で学業を断念することがないよう尽力した。

(五) 中学校給食導入

令和元年九月から中学校において学校給食を実施し、児童生徒に栄養のあるバランスの取れた食事を提供できるようにするとともに、保護者負担の軽減にも尽力した。

(六) 教育のICT化の推進

令和三年四月からのGIGAスクール構想に先駆け、平成三十年度に三人に一台の割合で学習用タブレットパソコンの整備を進め、児童生徒が学習内容の理解をより定着しやすくするよう尽力した。

(七) 小学校における外国語教育の推進

外国語教育を推進していくため、A L Tを中学校だけでなく、小学校にも配置するとともに、中学校英語科の教員免許を有する者を小学校で積極的に任用し、ティームティーチングによる授業体制を構築し、コミュニケーション能力を高められるよう尽力した。

三、荣誉に関する事項

第五十九回全国町村教育長会 教育功労賞 受賞

四、その他特記すべき事項
特になし

別紙様式2

基準該当者功勞調書

(職名) 元 熊野市教育委員会 教育委員 (氏名) 大久保 勳

一、略歴

昭和四十一年三月二十五日 国立三重大学学芸学部卒業
昭和四十一年四月一日 南牟婁郡上川小学校教諭
平成二年四月一日 熊野市教育委員会指導主事
平成九年四月一日 熊野教育事務所長
平成十二年四月一日 御浜町立御浜中学校長
(平成十五年三月三十一日 同 (退職))
平成二十一年十二月二十三日 熊野市教育委員長に就任
平成二十七年四月一日 熊野市教育委員会教育長職務代理者に就任
(令和三年十二月二十二日 同 (退任))

二、功勞の内容

- (一) 平成二十一年十二月に教育委員会委員に就任し、平成二十七年三月までは教育委員長として、また令和三年十二月の任期満了となるまでは、教育長職務代理者として永きにわたり、教育に関する豊富な経験と、高い識見、三重県や本市など地域との関わりの中で培った経験を基に、卓越したリーダーシップを発揮し、教育委員会会議等での議論の充実や円滑な運営など、熊野市教育委員会に多大な貢献を行った。
- (二) 平成二十八年度には、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、学校教育の根本的な方針を示す「熊野市教育大綱」の策定に関し、学校現場における豊富な経験、知識や永きにわたる教育委員としての知見を活かし、多角的な視点で提言を行った。
- また、令和二年度には、今日的教育課題への対応策と子どもたちが確かな学力を備え、心身ともに健全に成長していくための学校教育の充実を盛り込んだ「熊野市教育大綱」の改定に貢献を果たした。
- (三) 平成三十年度には、熊野市のスポーツ推進に関する基本方針であり、スポーツ行政のマスタープランとなる「熊野市スポーツ推進計画」に係る協議の中で、少子高齢化の実態に即した数多くの提案を行い、計画の策定に尽力した。
- (四) 社会教育における施策や各施設の運営が市民本位となっているかについて、利用者の視点に立ち、教育委員会会議や総合

教育会議の場等で建設的な提案や議論を行うなど、市の社会教育の振興に多大な貢献を果たした。

(五) 図書館運営について、利用者の視点に立った提言を行うとともに、自らも自宅を私設図書館として開放し、子どもたちが読書の楽しさを体験できる活動を行うなど、子どもの読書活動の重要性を説き、子ども・保護者・地域が一体となった学習環境の構築に尽力した。

三、榮譽に関する事項

特になし

四、その他特記すべき事項

特になし